

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212Q204	急性期看護方法論 I (Nursing practice in acute state I)	専門教育科目 成人看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	2	後	木・2 木・3	末弘 理恵・大野夏稀・佐藤昂太郎 看護部 (救急看護認定看護師) 内線: 5053 E-mail: suehiror@

【授業の概要・到達目標】

健康状態が急激に破綻した急性期および救命救急を必要とする対象とその家族への看護の原則を学ぶ。急性期から回復期にいたる対象の特徴を理解し、健康の急激な破綻から回復を促すための救命処置および生命の恒常性維持を目指した看護技術の原則を学ぶ。さらに、急性期にある対象を支援するヘルスケアチームの活動を理解し、看護職の役割を考える。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 急性期から回復期に至る、対象とその家族の特徴と看護の原則について理解できる。	○	○	○			○	
2. 救命処置・生命の恒常性維持を目指した看護技術の原則を理解できる。	○		○				
3. 急性期にある対象を支えるヘルスケアチームの実際と看護職の役割を考えることができる。		○	○	○			

【授業の内容】

1	急性期・回復期にある対象の特徴	・言葉の定義・概念、対象と家族の特徴、看護の原則
2	救命救急を必要とする対象の看護①	・対象と家族の特徴、倫理上の課題
3	医療処置を必要とする対象の特徴と看護	・集中治療室における看護の実際、看護職の役割 急性期にある対象を支えるヘルスケアチームの実際 看護職の視点
4	救命救急を必要とする対象の看護②	・演習：医療者が行う一次救命処置
5・6	急性の呼吸機能障害にある対象の看護	・事例を通し、機能障害と病態生理、看護の視点を学ぶ。
7・8	急性の循環機能障害にある対象の看護	・事例を通し、機能障害と病態生理、看護の視点を学ぶ。
9	急性の状態にある対象への看護①	演習：モニター心電図装着時の看護 他
10・11	急性の脳神経機能障害にある対象の看護	・事例を通し、機能障害と病態生理、看護の視点を学ぶ。

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	小テスト、授業評価シートの記入	・急性期の対象をイメージできるよう、事例、動画や実習での実践例を活用する。 ・患者モデルを展示し、自己学習につなげる。
B：意見の表現・交換	○	発問、グループ検討、事例検討・計画作成	
C：応用志向	○	演習：一次救命処置、呼吸の援助法等	
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書・DVD等を用い、次回の学習内容の予習。演習前にはモデル等を用いて予習する。(3-6h)
事後学修	配布資料・教科書・小テスト・e-learningを用い、授業で学習した内容を復習する。(11h)

【教科書】

林直子他編 (2024) 看護学テキスト NICE 成人看護学急性期看護 I 概論・周手術期看護改訂第 3 版南江堂 978-4-524-23231-4
佐藤まゆみ他編 (2024) 看護学テキスト NICE 成人看護学急性期看護 II 救急看護・クリティカルケア改訂第 4 版南江堂 978-4-524-23288-8

野崎真由美他 (2022) 看護学テキスト NICE 成人看護学成人看護技術改訂第 3 版, 南江堂 978-4-524-22954-3

【参考書】 黒田裕子監修 (2021) : 看護診断のためのよくわかる中範囲理論 第 3 版, Gakken 978-4-7809-1399-6

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3
レポート	20%	○		
期末試験	80%	○	○	○

【注意事項】 授業の日程は、初回講義時に提示する。

【備考】

担当教員の実務経験の有無	<input type="radio"/>	
教員の実務経験	末弘理恵（看護師）、大野夏稀（看護師）、佐藤昂太郎（看護師）	
実務経験をいかした教育内容	初學者に対して、急性期にある者・家族のイメージが持てる様、臨地における具体的な看護実践を伝え、急性期看護の意義と重要性が理解できるよう、授業を構成する。	
担当教員以外の指導にかかわる実務経験の有無	<input type="radio"/>	
教員以外の指導に関わる実務経験者	看護部の看護師（看護師）	
実務経験をいかした教育内容	救命救急やヘリナースとしての活動経験を通して、救命救急時の看護職の役割およびチームでの看護の役割を考えられるよう、講義を行う。	
授業形態	対面授業	